

新編武藏國風土記稿

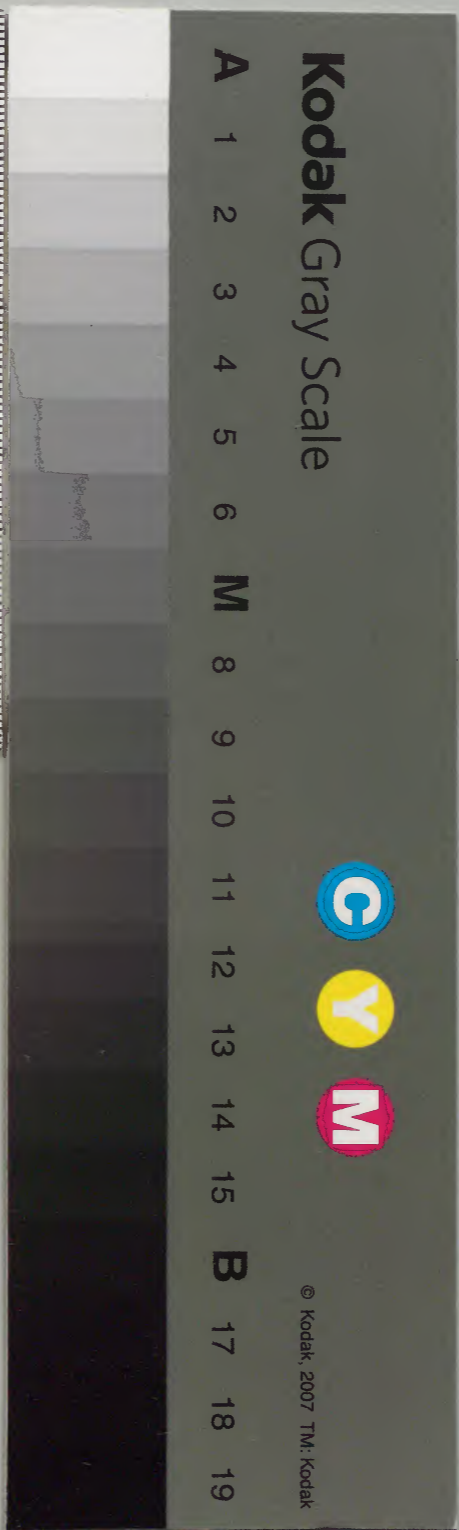
橘樹郡

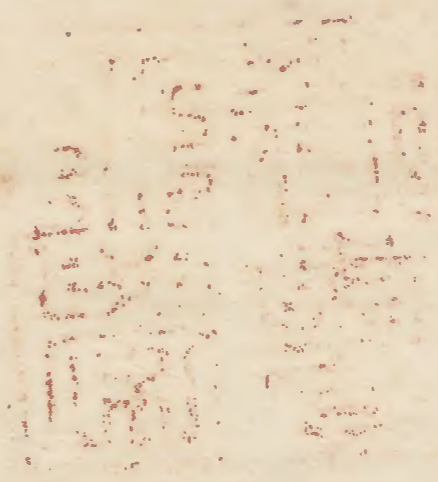
卷之六十四

| | | | |
|-----|-----|-----|----|
| 和書門 | | | |
| 二五五 | 二二三 | 一六五 | 一〇 |
| 冊 | 架 | 函 | 號 |

| | | | |
|------|-----|-----|----|
| 內閣文庫 | | | |
| 七三 | 二五五 | 一六五 | 一〇 |
| 函 | 冊 | 號 | 類 |

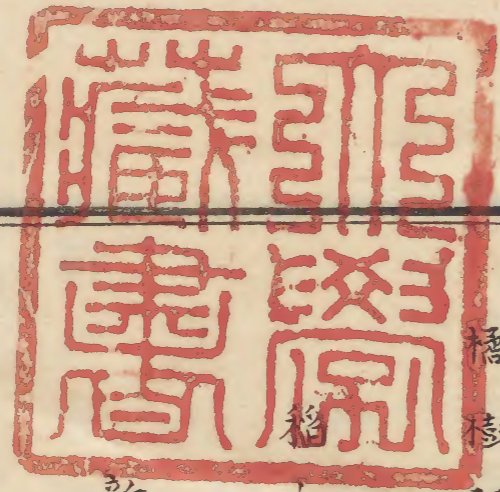
| | |
|------|------------|
| 內閣文庫 | |
| 番號 | 和 16510 |
| 冊數 | 255 (64) |
| 函號 | 173 210 |





新編武藏風土記卷之六十四目錄

淺草文庫



橋樹郡之七



新

領

作

坂戸村

諏訪河原村

北見方村

宮内村



小杉村

上平間村

上丸子村

中丸子村

新編武藏風土記卷之六十四

橋樹郡之七

稲毛領

新作村

新作村ハ。郡ノ北ノ方ニアリ。小田原家人所領役帳ニ。小机ノ内トアリ。又國領氏ノ傳ニヨレバ。コノ村ヲ稲毛庄トセルセリ。ソノ稲毛ニ屬セル年代ハ詳ナラス。今ハ稲毛領ナリ。サレバ後ニ領名起リテヨリ。庄名ハ廢セルナルベシ。江戸日本橋ヨリ行程五

里餘ナリ。家敷五十四軒。村ノ中央ナル山ノ根ニ住
ス。四境東ノ方新城村ニ隣リ。巽ハ清澤村ニテ。南ハ
上下野川村ニ接ス。西ニハ梶ヶ谷村アリ。北ハ末長
村ニサカヘリ。東西十八町餘。南北四町許。其内東ノ
方ハ平田ニシテ。西ヨリ南ニハ山ナリ。水陸ノ田相
比スレバ。陸田ノ方少シ。土性ハ野ハク野土一十錯
ハレリ。山ハ野土赤土ナリ。永祿ノ頃ハ。後藤惣次郎
ガ知行十五貫六百三十七文ト。北條ノ彼帳ニ見ユ。
御入國ノ後ハ。シバラク御料所ナリレガ。寛永四年
村内ヲサキテ増上寺ニ賜ハリ。彼寺ノ隱居料及ヒ

臺所料トナル。又ソノ頃ノコトニマ。國領七郎右衛
門吉次。門奈又凡衛。門某二人ニ賜リテヨリ。今ニソ
ノ子孫國領又兵衛。門奈傳十郎二人ノ知行所ナリ。
檢地ノコトサダカナラズ。今ハ元祿七年ニ地頭ヨ
リアラタメシ水帳ヲ用ユト云。
高札場ニケ所アリ。一ハ村ノ中央ニアリ。コレ増
上寺ヨリ建ル所ナリ。一ハ中央ヨリ北方字間際
根ニアリ。コレ地頭二人ヨリノ高札ナリ。

小名
間際根
村ノ中央ナリ。

池ノ谷 西ノ方溜井ノ邊ナリ。

神明谷 乾ノ方ナリ。

佛手臺 中夾ハ幡山ノ側ヲ云。

田畑上 村ノ南ノ方ナリ。

巖窟

岩穴 字間際根ノ邊ナル山ノ下ニアリ。ソノ数九

アリ。土人ハコレヲホラ穴ト稱ス。口ハワヅカニ

匍匐シテ入ルベキホトナレトモ。内ハ疊五六疊

モシクホトナリ。其内ニ三階洞ト唱フルモノアリ

リ。ミツカサナリクハ穴ニテ。廣サ各十疊ヲシク

ホトナリ。此外ニツツバキクルモアリ。土俗ニ古

穴居ノ時ノ跡ナリト云。是モ前ノ岩川村ノ穴

ナソトオナジク。兵亂ノトキ穀ナト畜ヘシ所ナ

ルベシ。

水利

川崎用水 多磨川分水ナリ。隣村久永村ヨリ流レ

来リテ。村内ニ引ソク。

溜井 小名池ノ谷ニアリ。一段許ノ池ナリ。今ハ用

水ニモ用ヒスト云。

神社

八幡社 字佛手臺ニアリ。社地スベテ丘ノ上ナリ。
鎮坐ノ年代ヲ傳ヘズ。村ノ鎮守ナリ。神躰ハ木ニ
テ長一尺ニ寸。社前ニ石階九十四級アリテ。下ニ
石ノ鳥居ヲツツ。例祭ハ六月十九日。十月十五日
ノ二日ナリ。村内養福寺ノ持。

末社

三峯社 本社ニ向ヒテ左ニアリ。

牛頭天王社 コレモ同シ。

飯綱社 中央ヨリ北ノ方。佛手臺ノツバキナル丘
ニアリ。小祠ニテ覆屋ヲ設ク。神躰ハ立像ニテ。長

五寸バカリ。側ニ大小天狗ノ像ニ軀ヲ安ス。此社
勸請ノ年代ヲ傳ヘズ。養福寺持。

熊野三社 飯綱権現除地ノ内ニアリ。神躰ハ三軀

トモニ木ノ立像ニテ。長一尺一寸許。養福寺持。

神明社 村ノ西ニアリ。小祠ニテ東向ナリ。養福寺
持。例祭ハ九月十六日ニテ。此日村民寄ツトヒテ
飯ヲ多カシキ。互ニ強テハマシム。是日光山ノ強
飯ヲドノ類ナルベシ。

寺院

養福寺 村ノ中央ニアリ。天台宗多磨郡深大寺村

深大寺末。無量山昌谷院ト號ス。客殿六間ニ七間半。東向ナリ。本尊弥勒上品ノ座像。長二尺五寸。開山ハ常範法師ト云。文明元年寂セリ。觀音堂。客殿ニ向テ右ノ方奥ウカキ所ニアリ。三間ニ二間半。正觀音ノ立像長二尺許ナルヲ安ス。

藥師堂。村ノ中央小名間際根ニアリ。丘ノ半腰ナリ。土人ハ庵ト呼ブ。四間四方南向ナリ。藥師ノ長二尺餘ノ立像。行基ノ作ナリト云。江戸麻布光林寺ノ住持槃桂ノ開基ナリ。槃桂ハ濟家ノ内ニテ。

別ニ一派ヲナシ。一時入京法ヲ振ヒシ頃。此庵ヲ建テ休息所トセシト云。

墳墓

古塚。四ヶ所アリ。一ハ村ノ南字田畑ノ上ニアリ。此塚六七年前農人誤テ鋤ヲ入シニ。土崩レテ坑開ケ。中ヨリ古陶器ニツ。徳利ノ如キ形ノモノヲ出セリ。其瓦ヲノヅムニ。上ノ方左右一青石ヲ建テタルサマ。柩ノ形ナリ。土人ソノ石ノ内ニ枚ヲ出シテ。今田間ノ橋トセリ。一ハ村ノ南野川村ノ境ニアリ。辨天塚ト呼ブ。上ニ辨天ノ社アル故ナ

リ。塚ノ廻リニ十八九間モアールベシ。近キコロ玉
人堀穿チシニ。小蛇出テ足ニ啗付シエハ恐レテ
ヤミシナド奇怪ノ話アリ。是モ内ヨリ徳利ノ状
ニテ。銷子ノ如クスキ透リ。其色イトウルハシキ
モノ出シトゾ。一ハ同塚ノ東ノ方ニアリ。今ハ七
ハ珍許ニテ。ワヅカニソノ状ヲ遺セリ。コレモ農
耕ノ妨ナリトテ。先年堀崩セシニ。崇寧通寶ノ古
錢アマタ。及ビ矢ノ根ニ寸バカリナルモノ出
リ。ソノ数ヲビシキコトナリト云。又太刀四
振。長刀ニ柄。鎧ノサ子。ヲ与ヒ金具マハリノ朽
タ

ルモノ。冑ノ天。空ノ金物。如キモノ出タリ。コレ
ヲラアツノ。儀ニシテ埋ミシト云。一ハ字田畑ノ
上ニアリ。コレモ冑ノ朽シモノナドアリシト
云。コノ外佛手臺ト云所ニ。ニツホドアリシガ。コ
レハ皆堀崩シテ。今ハ平地トナレリ。何レモ故ア
ル人ヲ葬リシ處トニエタリ。

坂戸村

坂戸村ハ。郡ノ北ニテ。ニ子ノ渡ノ方ヘヨリタル所
ナリ。昔ハ縮毛庄ノ内ナリシガ。今ハ縮毛ノ領ナリ。
村名ノ起リヲ詳ニヒズ。サレド正平ノ頃。美作左衛
門大夫トイヒシ人此所ヲ領セシ。南朝ノ下ニアレ
ハ。古クヨリ開ケレコトハ論ナカルベシ。ソノ文左
ニノス。

判

下

義作左衛門尉美作家系

可令子領知武藏國稀毛庄内

坂上郷事

右為惣切之賣而家形也高子先例

下後沙汰之状の件

西平七年二月廿五

是ニヨレバ昔ハ坂上ト書シテ。後ニ今ノ如ク戸ノ
字ニカヘシコト知ラレ。江戸日本橋ヨリ行程五里
ニ餘レリ。村ハ四境東ハ小田中村ニテ。南ノ方ハ赤
長村ニ隣レリ。西ハ久本村溝口村ニ界ヒ。北ハ二子

北見方ノ西村ニ交レリ。村ハ廣サハ東西一七町ニ
スギス。南北四町餘ナリ。民家五十七軒。村内平ニシ
テ。田多ク畑少シ。檢地ハ元禄十年。織田越前守タ
セリ。御入國ノ後ハ。御料ナリレニ。享保二年。
前章院殿御靈屋料トナレリ。
高札場 村ノ中央ニアリ。

小名

上 村ノ西ノ方ヲ云。

高橋通り 村ノ中程ナリ。

下 村ノ東ヲイヘリ。

橋梁

石橋 川崎用水ニ架ス。長五間幅六尺ハカリ。北ノ方ニヨリテアリ。

水利

川崎用水 村ノ西ノ方溝口村ヨリ入テ。北ノ境ヲ流ル、コト。長凡七百三十間餘ニシテ。上小田中村ニ達ス。川幅六間許サレド、カサ卑キヲ以テ。當村ノ用ヲナサズ。
根方堀 是ハ川崎用水ノ分流ナリ。溝ノ口ヨリ入。北ニツヒ上小田中村ニ達ス。當村ノ用水トス。

神社

御嶽社 村ノ東ニアリ。當村ノ鎮守ニテ。安養院持。

例祭年々九月十七日ナリ。

八幡社 村ノ西ニアリ。東向ノ社ナリ。例祭毎年正月晦日ナリ。コレモ安養院持。

第六天社 村ノ中央字木ノ元耕地ニアリ。安養院

ノ持ナリ。

稻荷社 村ノ西字三町耕地ニアリ。村民持。

稻荷社 村ノ東ニアリ。コレモ村民ノ持ナリ。

寺院

安養院 村ノ中央ニアリ。御嶽山真性寺ト號ス。新
義真言宗。小杉村西明寺門徒ナリ。開山ハ覺淳ト
云。慶長十五年二月朔日示寂。本尊弥陀立像。長二
尺許。客殿五間ニ七間。東向。
稻荷社 境内ツバキニテ。同寺ノ持。

諏訪河原村

諏訪河原村モ多磨川邊ナリ。古一北條家没落ノ後。
カノ家人諏訪左近頼久ト云者。此地ニ住シテ開發
セリ。依テ家號ヲ以テ村ニ名ヅクト云。或ハ小黑左
近トイヒシモノ。コノ村ヲ開ケリト。オモフニ諏訪
左近後ニ小黑氏ニナリシナリ。村内明王院ニ此
小黑左近ガ墓アリ。慶長十六年七月廿五日死ヒシ
ト云。江戸日本橋ヨリ五里ノ行程ナリ。東西五町餘。
南北十一町餘。四境ハ東ノ方北見方村ニ傍。多磨川

ラ隔テ荏原郡下野毛村ニ對セリ。南西ハスベテニ
子村ニテ。北ハ瀬田村ノ飛地ニ接セリ。多磨川ニ添
レ所。缺所三百間餘。又百七十間餘ニケ所アリ。家數
五十五軒。村内ニ散住ス。此村スベテ平地ニテ。土性
ハ真土ナリ。川ノ邊ハ砂石錯リ。水田多ク陸田少シ。
兩毛作ノ田。高低ニヨリテアリ。水損繁ク。早損ハ稀
ナリ。産物ハ柿ノ木地ニ應ジテ實ノリヨケレバ。秋
ゴトニ江戸へ鬻ケリ。又耕耘ノ暇ニ菘ヲ織リテ生
産ヲ助シ。開闢ノ時ヨリ御料ニテ。正保四年ニ清水
一庵ニ村内ヲ分テ賜ヘリ。孫龜庵ノ代。承應二年ノ

頃。ソノ所モ上地トナレリ。此後ホド歴テ。増上寺
御靈屋料トシテ。江戸巢鴨ノ代地ニアテラル。檢地
ハ元祿四年。伊奈半十郎ニテ。新田檢地ハ。四ヶ度ア
リテ。次第ニ開墾セリ。御代官ハ。伊奈氏ヨリ川崎平
右衛門ニ至リ。コレヨリ八人遷替シテ。今ハ小野田
三郎右衛門支配ト。御靈屋料入會ノ地ナリ。
高札場 村ノ南ノ方ニアリ。

小名

東向 村ノ東ノ方ナリ。
塚田通 村ノ南ノ方ヲ云。

寺前通 中央ヲ云。

熊澤通 西ノ方ヲ云。

諏訪前通 北ノ方ヲ云。

中河原 北ノ方ヲ云。

川附通 前ニ同ジ。

兵庫嶋 北ノ方ニアリ。飛地ニテ。二子村

ヲ隔テ。多磨川岸ノ河原ヲ云。

向河原 北ノ方多磨川ヲ隔テ向フヲ云。

飛地ニテ。増上寺 御靈屋料江戸菓鴨

ノ代地ナリ。

山川

多磨川 村ノ北ヲ流ル。瀬田村ヨリ東ノ方北見方

村ニ通ス。村内ヲ流ル、コトニ町許。平水ツ時ハ

四十間餘ノ川幅ナリ。

沼 村ノ北ノ方。多磨川ノ邊ニアリ。六畝バカリノ

沼ナリ。

水利

堤 村ノ北ニヨリテアリ。多磨川ノ水除堤ナリ。二

子村ヨリ北見方村へ貫ク。長サ四百五十九間ト

云。

八 村ノ乾ノ方字熊澤ニアリ。忍水ヲツ、グ以テ
リ。長七間高三尺横三尺五寸。

神社

諏訪社 村ノ北ノ方ニアリ。諏訪九近頼久が勧請
アリ。ソノ年代ハ天正慶長ノ頃ナルベシ。頼久が
子孫今モコノ村ニアリ。例祭ハ九月十七日ニテ。
杉山明神ト隔年ニナセリ。此時明王院ノ不動ヲ
コ、ニ奉ジ来リテ。神座ニ安スルヲ例トス。古ハ
ニ子坂戸。北見方。諏訪河原。四ヶ村ノ鎮守ナリト。
サレト今ハ當村ハカリカニテ。明王院ノ持ナリ。

杉山社 字寺前ニアリ。大門ノ入口ニ木ノ鳥居ヲ

建。例祭ハ石ベテ諏訪ノ社ニ同ジ。是モ明王院持

第六天神明合社 字東通りニアリ。小祠。明王院持

ナリ。

稻荷社 字寺前ニアリ。小祠。明王院ノ持。

寺院

明王院 村ノ中央ニアリ。新義真言宗。同郡小杉村
西明寺ノ末ナリ。諏訪山圓能寺ト號ス。客殿七間
ニ五間半南向。本尊不動ノ座像二尺ナルヲ安置
ス。又不動一尺ニ寸許ナルアリ。是ハ諏訪杉山西

社祭禮ノ時出セリ。開山開基詳ナラズ。古ハ西明
寺門徒ニテアリシガ。寛保元年任持盛賢ノ時。本
寺ノ住僧隆真ヨリ免許アリテ。末寺トナレリ。元
祿四年當寺ノ末由ヲ書上シ書ニ云。開山ノ僧ハ
年久シキコトニテ詳ナラズ。中古ハ定リタル住
持モナクシテ。堂宇大破ニ及ビケルヲ。慶長年中
良識ト云僧住シテ。再建セリト。村ノ水帳ニハ。圓
能寺ト記シタリシガ。寛文八年ヨリ。今ノ寺トク
明王院ニ改メタリト。
觀音堂 客殿ニ向テ左方ニアリ。二間半ニ二

間東向。本尊ハ立像ニシテ。長一尺許ナルヲ安置
シ。側ニ關魔ノ像長二尺二寸ナルアリ。共ニ作
シレズ。

塚

塚ニ一ハ字塚田通ニアリ。百姓傳ハト云モノ、
住居ノ後ニテ。高サ三四丈バカリノ塚ナリ。上ニ
富士淺間ノ勸請シ。石ノ祠ヲ立。裏ニ諏訪九近七
世ノ孫。小黑傳ハト鎬レリ。寶曆ノ頃造立セシモ
ノナリ。故ニ土人淺間塚ト云。今一モ同ジ邊ニア
リ。古ハ廣サ百坪許アリテ。高キ塚ナリ。一年土人

堀クツセシニ。武器財寶ノ類出セシガ。ソノ人大
ニ煩ヒトヤミケリ。恐レテ其マ、瘡ノウケリト。
今ハ僅ノ塚ナリ。今一モ同ジ邊ニアリ。四五十坪
許ニテ。サマテ高カラザル塚ナリ。上ニ天神ノ社
ルユ一。土人天神塚トヨベリ。

舊家

百姓傳ハ氏ハ小黒ト云フ。晨祖ハ本國信濃ニテ。
諏訪安藝守源頼忠ノ末孫。諏訪部宗右衛門が身
中。至リ。元京太夫氏直没落ノ時。ソノ身ハ道ニ

テ。寺尾村小黒ノ里ニ来。此所ニ暫ク住セシ。祖
先ハユヘアルモノナレド。カク民間ニ落シカバ。
氏ヲモ改メテ。地ノ名ニヨリ小黒ト云ケル。コ
ノ稻モノ地ハ。多磨川ニツヒテヨキ地ナレバト
テ。二人ノ子ヲシテ。ソノホトリニ新墾ノ田ヲ開
クシメ。居宅ナドカマヘ。ソレヨリ農民ノワザヲ
ノミ勤メシカバ。次第ニ家富サカエケリ。因テ村
名ヲモ諏訪河原ト名付タリ。カレガ家ニ。祖先ヨ
リ傳ヘシ。武器寶物モアリシガ。カ、ル農民トナ
リシカバ。今ハ用ナキモノナリトテ。コトイク前

ナハ塚一埋ノタリト云。ソノ外舊記ナドモアリ
シヲ。慶長ノ頃。洪水ノ災ニカ、リシ時流失セリ。
ソノ後モシバ、村内水災アリシカバ。堀ヲ鑿チ
テ。ソノ水道ヲ通ジ。是ガ為ニ大ニカラ盡セリ。ソ
ノ頃ノ御代官小泉次太夫モ。溝渎ノコトラツト
ノシカバ。カノ指揮ニ從ヒ。近村ノ人夫ナドカリ
タリ。スミヤカニ事ナレリ。ソノ後又稻毛川崎
両所ノ用水ヲ開カレシ時。カノ次太夫奉行セリ。
ソノ時此村ヨリ多ク竹ヲキリ出シテ。御普請ノ
材料トセリ。此等ノコトラノ功スナカラズ。又

諏訪明神ハモトヨリオノガ尊敬スル所ナレバ。
カノ社ヲモ此地ニ造ラセリ。慶長十六年七月ニ
十五日。尤近頼久死セリ。ソノ後歴代ノ事蹟ハ傳
ヘ子ト。世々連綿シテ。今ノ傳ハニ及ベリ。家ニ傳
フルモノ。ワツカニ存スル所左ノ如シ。
法華經八卷 一函
此ハ先祖ノ讀誦セシト云傳フレド。サシテ
古キモノトハ見エズ。
刀 一腰
無銘ニテ。長ニ尺五寸五分。中心六寸。鍔甚シ

クテ。身ヤキハノサマモ見エ分ラズ。鐺ノワ
タリニ寸二分。鍔ニテ透レアリ。古様ナリ。
拵モアノドサセルモノナラス。

服差

一腰

十カサ一尺三寸。中心ニ寸五分。銘ハ下坂ト
ノミアリ。鐺モ亦銅拵ナリ。

北見方村

北見方村ハ。諏訪河原村ノ東ニツバケリ。土ノ傳
ニハムカレ住吉ノ庄ト云レコトアリトイヘド。夕
シカナル證ナシ。又他ノ村ニモ此庄名アリシコト
ヲ聞ズ。村名ノ起リヲ尋ルニ。此村ノ里正ガ先祖某
ナルモノ。今川家ノ臣ニテ。後北見氏ニ仕ヘ。故アリ
テ農家ニクダリ。荏原郡瀬田村ニ住セシガ。當地ヲ
新開シ。主ノ氏ヲ以テ。北見方ト名クト云ヘリ。是モ
ウケガタキ説ナリ。江戸日本橋ヨリ行程四里半。四

境ハ北ヨリ東ノ方ハ。下野毛村ニ接シ。南ハ上小田
中坂戸ノニ村ニ隣リ。西ハ二子諏訪河原ノニ村ニ
接セリ。東西一十町。南北十八町。民戸四十三軒。四方
ニ散住セリ。地形ハ卒ニシテ。土性ハ真土ナリ。田畑
ハ等分トイヘド。ソノ實ハ陸田多キ方ナラン。常ニ
水災ハ多クシテ。旱損ハナシ。北ノ方多磨川ノ向ニ
飛地アリ。農民ノ耕作場ナリ。コ、ニ作場渡モアリ。
檢地ハ慶長十五年八月朔日ナリ。ソノ頃ノ不帳今
モ残レリ。ソノ末ニ川原七右。植木兵九。村右衛三。人
右ヲシルセリ。又同十七年八月廿九日ニモ改ノ

ソノ水帳ニ。吉田源九衛門。植木兵九衛門。墨田
九近有馬。清兵衛ノ名ヲノス。ソレヨリ程一テ後。寶
永四年四月ニモアリ。其時ノ水帳ニハ。御代官江川
九兵衛。小長谷勘九衛門。二人ノ名アリ。多磨川附新
田ノ檢地ハ。享保十八年。寛播磨守。延享二年。神尾若
狹守。寶曆十一年。伊奈半九衛門ナリ。地頭ハ。御入
國ノ後。齋藤棋津守ニテ。元禄十一年。故アツテ上地
ニナレリ。御代官ノ遷替ハ。寶永四年ヨリ。江川左兵
衛。正徳三年ヨリ。同キ太郎九衛門。享保十五年ヨリ。
田中休藏。寛保元年。上坂安九衛門。同年。伊奈半九衛

門。寛政四年ヨリ菅沼安十郎。文化元年ヨリ中村八
太夫。同三年ヨリ伊奈助右衛門。同十年ヨリ小野田
三郎右衛門が支配ナリ。
高札場 村ノ東ヨリニアリ。

小名

道下 村ノ中夾ナリ。
夕カヒ上 村ノ中程ヨリ南ノ方。上小田
中村ノ境マテヲ云。
大道根 村ノ東ノ方。
堀合 南ノ方。

高橋 西ノ方。

古屋敷 前ニ同ジ。

土腐 同ジ邊ナリ。

山川

多磨川 村ノ北ノ方ヲ流ル。西ノ方諏訪河原村ノ
境ヨリイリ。長三百間餘ニシテ。東ノ方下野毛村
ニ通ス。川幅六十間ホド。水増サレバ七十間餘ニ
至ルト云。

古多磨川 村ノ東ノ方一段許ノ沼ニテ。ソノ形屈
曲セリ。今ノ多磨川ヨリハ南ニアタレリ。

水利

堤 二 一ハ村ノ中央ヲ南北ニ貫ケリ。長サ四百八十間餘。敷ノ幅七間ナリ。一ハ村ノ北古多磨川ニ添テアリ。長三百八間餘。敷ノ幅三間。

用水 村ノ中央ヲ流ル。西ノ方ニ子村ヨリ入り。中程ニテニ流トナル。一ハ東ニ通ズ。コレヲ宮内用水ト云。一ハ南ニ流ル。コレヲ小杉村上九子村用水トイフ。共ニ村内ヲフルコト三百間許。當村ニテモ水田ニ引用ユ。

川崎用水堀 村ノ南境ヲ流ル。ニ子村ヨリ入り。東

方小田中村ニ通ズ。

石堰 四ヶ所。共ニ村ノ西ノ方ニアリ。長九尺横八尺。四ヶ所ナカウ同ジ大サナリ。

悪水吐水道 四ヶ所。村ノ中央堤通りニアリ。自普請所ナリ。

神社

白鬘社 村ノ北ノ方ニヨリテアリ。神躰ハ故アツテ村内正福寺ニ安ス。社前ツコハツヲ隔テ木ノ鳥居ヲツツ。例祭ハ九月十三日。村ノ鎮守ニテ。正福寺持ナリ。

伊勢宮 村ノ東ノ方ニアリ。尨小祠。前ニ木ノ鳥居
ヲ建。是モ正福寺ノ持ナリ。

第六天社 村ノ東ノ方ニアリ。小祠。同寺ノ持ナリ。
寺院

正福寺 村ノ南ノ方ニアリ。新義真言宗ニテ。同郡

小杉村西明寺。末ナリ。白玉山ト號ス。客殿七間ニ

五間。西向ナリ。本尊ハ大日座像ナリ。長一尺許。開

山ハ法印快雅ト云。天和二年二月二十一日寂ス。

村ノ鎮守。白鬘ノ神躰イツノ項ヨリカコニ移

シテ。客殿ノ左ノ方ニ安置ス。長一尺許ニ見ユ。年

年例祭ノ時。社内一移シ。常ハコノ所ニアリ。

寶物

三幅對ノ画像

中ハ不動。左右ニ赤童子白童子ヲ画ケリ。各

長三尺五寸許。横一尺餘ナリ。本覺大師ノ筆

ト云。コレハ慈覺ノ法脉ヲ續キシ人ト云。

觀音堂 客殿ニ向テ尨ノ方ニアリ。九尺ニ二間

南向。聖觀音立像長一尺ナルヲ安ス。

弥陀堂 村ノ中央ニアリ。四間半。西方西向ナリ。本

尊ハ立像ニテ。長一尺二三寸許。正福寺持ナリ。境

内ニ古碑三四基アリ。何モ文字ハ磨滅シテ讀得
ズ。

塚

古塚 村ノ北ノ方ニアリ。田間ニ突出セリ。高七尺
餘。敷ノ徑六間許。何塚ト云コトモ傳ヘズ。中古里
正堀リテ平田ヲ發ントセシニ。古陶器并ニ壺十
ト出レガ。サマテ證トナスベキ物ナシ。古ヘユヘ
アル人ノ葬地ナドニテモアルカ。今ハ上ニ石ノ
地藏ヲ建。

宮内村

宮内村ハ。郡ノ北ノ方ニテ。多磨川ニソヒタル地ト
リ。村内春日社ニアル。鰯口ノ銘ニヨルニ。稲毛本莊
ト云。此村名古キ世ヨリ起リレコト、見エレドソ
ノ初ヲレシテス。土人ノ傳フル如ハ。早魁ノトキ。
嵯峨天皇雨乞ノ夕ノ。當所春日明神ノ社一宮内卿
藤原朝臣某ヲ奉幣使トシテ下サレケルコトアリ
シニ。ソノ驗アリシカハ。カ、ル故ニ宮内村ト称ス
ト。此事妄説ニシテ。更ニ取ベカラザレド。姑ク傳フ

ルマ、ラシルセリ。亦モフニ首神社ノコトニヨリ
テ。カク名ツゲシモシルベカラズ。サレバクナイト
ハ唱一ズシテ。宮ウチトイヘリ。家数三十六軒。村ノ
中央ニアリマシ。此村ハ昔ヨリ民戸定リテ。三
十六軒トクギリ。此餘戸数ヲマサバリレコトナリ
レガ。安永年中ヨリ。ツノ定モヤミヌトイヘリ。江戸
日本橋ヨリ四里半ノ行程ナリ。村ノ西隣。東ハ小杉
村ニテ。南ハ上小田中村ニ隣リ。西ハ北見方。及ビ荏
原郡下野毛村ニ接シ。北モ同郡等々カ村ニ隣リテ。
大抵多磨川ヲ界トス。東西五百七十間。南北四百三

十間。水田多クシテ。陸田少シ。土地ハスベテ平ナリ。
土性ハ真土。砂交リニテ。専ラ糞培ハカヌ待テ耕種
ス。河邊ノ地ナレバ。ヤ、モスレバ水災アリ。永禄ノ
頃。北條ノ家人曾根外記ガ知行二十貫文。小机宮内
御ノ内ニアリ。ソレヨリ上ノ事ハ詳ラズ。御入
國ノ後ハ御料所ナリ。ツノ頃ヨリ寛永五年マデハ。
小泉次太夫支配セリ。同六年ヨリ十五年マデハ。中
野吉藏。伊余兵藏等預リ奉レリ。明心十六年。齊藤撰
津守ニ賜ハリシガ。元禄十年フク、ビ御料所トナ
リ。江川太郎左衛門。日野小左衛門。川崎平右衛門。田

中休愚右衛門。同休藏等カハル支配セリ。ソノ後
ハ伊奈半左衛門が家ニテ世々支配セリ。寛政年中
ヨリ。菅沼安十郎。中村八太夫。伊奈友之助等が支配
ラヘテ。今ハ小野田三郎右衛門信利支配セリ。檢地
ハ慶長年中アリシトノ傳ヘテ。詳ナルコトヲシ
ラス。ソノ後多磨川堤ノ外ハ。慶安三年地頭齊藤撰
津守夕セリ。又同キ五年。堤ノ内モ同人檢地ス。享
保十八年。寛播磨守正鋪新田ヲタシ。延享二年。神
尾若狭守春次。ウナ出しノ檢地セシナリ。
高札場 柱ノ中夾字御藏前ニアリ。

小名

サシガイ耕地

北ノ方ナリ。又西ノ方ヨ

リ南ヘカケテモ此字アリ。

古川耕地 南ノ方ナリ。

川田耕地 東ノ方ナリ。

前耕地 北ニヨリテアリ。

堤外耕地 是モ北ノ方ナリ。

山川

多磨川 村ノ北ヲ流ルコト千間餘。平常川幅四十
間許。古ハ多磨川村西ヨリ北見方上野毛ノ坂ニ

カ、リ。良一ムカヒテ流レガ。慶安年中地ヲカヘ
テ。今ノ如クナリレカハ。古ノ流ハ沼トナレリ。

橋梁

金井橋 西ノ方ノ堀ニ架ス。ワヅカナル橋ナリ。村
民云。慶長年中ノコトナリシ。金井木ユ之助ト云
者。此所ニテ賊ノ為ニ討レシガ。後ニ祟ヲナセシ
ユ一。塚ヲキヅキテ觀音ニ祝ヘリ。シカリレヨリ。
カレガ氏ヲトリテ橋ノ名トセリ。

水利

稲毛川崎用水 西ノ方北見方ヨリ流来リ。所々ノ

水田一注ガ。又小杉用水。上丸子用水ト云。細流モ
同村ヨリ来ル。コレヲモクナ稲毛用水ノ支流ナ
リ。

川除堤 多磨川ノ川除ナリ。長ナ三百間餘。敷ノ幅
五間高六尺。コノ内サク東ノ方ニ二條ノ堤アリ
テ。多磨川涯マデサレ出タリ。是ヲ横堤ト號ス。

神社

春日社 村ノ東ノ方字高瀬ト云所ニアリ。村ノ鎮
守ナリ。勧請年歴ラレズ。社五間ニ三間南向ナ
リ。神躰ハ赤童子ナリ。木ノ立像長ニ尺許。コノ神

躰昔ハ画像ニテイト古キ物ナリシヲ。近キ頃其
形ヲ彫刻セシト云。例奈ハ年々十月一日ナリ。社
頭ニ木ノ鳥居ヲツツ。

本地堂 本社ニ向テ左ニアリ。本地薬師。木ノ坐
像長三尺許。堂ハ一間半ニ二間ナリ。

末社

八幡牛頭天王 縮荷合社 本社ニ向テ右ニアリ。
別當常樂寺 社地ノワバキニアリ。新義真言宗。

小杉村西明寺ノ末。春日山醫王院ト號ス。開山
ハ行基菩薩ナリト云。本堂十一間ニ七間南向

ナリ。本尊大日。木ノ坐像ニテ長三尺許。縁起モ
アレドモツトモ信ズベカラザルコトノミナ
レバ。ハバキテ載ス。サレド應永年中ノ鰐口等
モノコリシヲ見レバ。古社ナルコトハ疑フベ
カラズ。

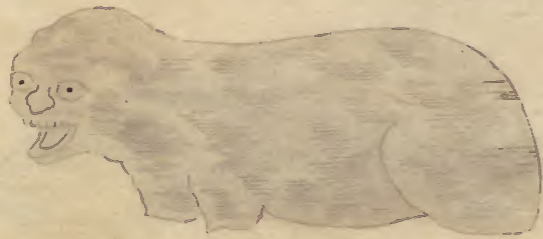
寶物

鰐口

コレハ昔神前ニ掛置シモノナリ。ソノ圖
左ノ如シ。

一口

音玉石曲玉



各類

二十七

獅子木像

イカナルトニ用ヒヤ。由緒詳ナラス。
木ハ檜ナドノ如ク木理アリテ古質ニシ

二頭



音玉石

曲玉



石櫃

本社ノ後ニアリ。神靈イトアラナ
レバ。近ヅクトキハ祟アリトテ。アヘテ近
ヅクモノナシ。苔ムシ埋リケレバ。オノツ
カラ朽テ。今ハ其形モ見エズ。二十年前マ
テハ。終ニ見エタリト云。

牛頭天王社 東樹院ノ境内ツバキニアリ。社ハニ

間ニ一間半南向ナリ。前ニ木ノ鳥居ヲタツ。村ノ

鎮守ナリ。例祭ハ十月一日。

天満天神宮 北ノ方多磨川ノ岸ニアリ。小祠。例祭

六月二十五日。東樹院持。

五郎社 村ノ良ニアリ。小祠ナリ。東樹院持。

神明宮 五郎ノ社ヨリサク北ニアリ。小祠ニテ南

向ナリ。東樹院持。

稻荷社 坤八方ニアリ。九尺四方ノ祠ニテ。東向ナ

リ。前ニ木ノ鳥居ヲタツ。此所昔ハ春日ノ旅所ナ

リシ故。土人呼テ旅所稻荷ト云。

稻荷社 中央ニアリ。コレモ九尺四方ノ祠ニテ。南

向ナリ。前ニ石ノ鳥居ヲタツ。東樹院持。

東樹院 寺院

東樹院 村ノ中央ニアリ。新義真言宗。小杉村西明

寺ノ末。入榮山多門寺ト號ス。開山ノ年代等詳ナラ

ズ。中興、開基ハ。石井源左衛門ト云モノナリ。天正

ノ頃ノ人ト云。今モ村民ニ其子孫遺レリ。客殿九

間ニ六間。本尊不動ノ木像ヲ安ス。

毘沙門堂 客殿ニ向テ左ニアリ。九尺四方ノ堂

ナリ。多聞天ノ像ハ。木ノ立像ニシテ。長一尺五

寸。相傳フ當寺昔ハ多磨川ノ邊ニアリシガ。洪

水ノ夕ノニ。境内彼川へ崩入レヨリ。後コ、一

移セリ。今モ昔ノアトヲ字シテ毘沙門堂ト云

所アリ。コレニヨレバ。コノ堂モ古キ造立ナル

へし。

高元寺 東ノ方小杉坂ニアリ。浄土新宗。京都西本願寺未。本堂六間ニ四間。東向ナリ。本尊弥陀木ノ立像ニレテ。長ニ尺許。當寺モ開山ノ年代等詳ナラス。慶安年中ノ水帳ニ。弥陀堂料ト云コトナリ。コレ當寺ノコトナリト云ツノ頃既ニ起立セシコトシルべし。

舊家

百姓榮ハ石井ヲ氏トス。先祖石井源左衛門。下野國ヨリ出エ。隣村小杉村ニ移リ。ツレヨリ天正四

年當所へ移リシト云。コレ東樹院ヲ開基セシ源左衛門ナリ。然ルニ神奈川宿ノ名主石井源左衛門が先祖モ同名ニテ。北條家以來ノ舊家ナリト云トキハ。同族ナドニヤ。系圖ヲ失ヒタレバ。考ニ由ナシ。

小杉村

小杉村モ宮内村ノ並ニテ。多磨川ニ傍テアリ。江戸日本橋ヨリ行程四里ニアマレリ。村ノ四境。東ハ上九子村。南ハ中九子市ノ坪。今井ノ村々ニテ。西ハ上小田中。宮内ノニ村。及荏原郡等々カ村飛地ノ邊ニ墾ヘリ。北ハ多磨川ニテ。コノ川ノ向ヒハ。又同ジ郡ノ内等々カ。上下沼部ノ三村ニトナレリ。東西六町半ニアマリ。南北一十五町餘ナリ。土性真土一十砂土交リ。田多ク畑ツレ。家數百二十三軒。村内ニ相摸

國中原街道貫ケリ。九子村ヨリ入リ。上小田中村ニ
通ス。コノ村開墾ノ初ハ傳ヘズ。寛永二十年伊奈半
十郎忠常ガ承リニテ檢地アリ。其後元禄十年織田
越前守モ檢地セリ。コノ頃ハ御代官所ニテ。伊奈半
十郎ウケタマハリ。ソレヨリ世々彼家ニテ支配シ。
享保年中田中休思右衛門喜古ヨリ引續キ。上以安
左衛門川崎平右衛門等支配シ。今ハ小野田三郎右
衛門御代官所。及ビ増上寺 御靈屋料ノ所交レリ。
高札場 小名 町可ニアリ。

小名

總山耕地 村ノ東ノ方ニアリ。
中町耕地 東ノ方ヲ云。
又町耕地 同ジアタリナリ。
東西耕地 東寄ナリ。
新田 西ノ方ヲ云。
御殿跡 北寄ナリ。由来ハ舊蹟ノ條ニ出
セリ。
山谷 陣屋跡ノ邊ヲ云。
宿 中原道ノ西寄ナリ。
町 同ジ邊ニアリ。

擾戸村ノ中程中原街道ノ側ニアリ。古

ハ此邊擾ノ古木アリ。旅人小杉ノ擾ト

テ目アテニナセリ。カ、ル故ノ名ナル

ト。

山川

多磨川 村ノ北方ヲ流ル。村内ヲ通スルコト七八

町。川幅平水ノ頃ハ二十間許。

林 多磨川水除堤ノ北側ニアリ。

橋梁

耕地橋 上小田中村ノ境ニアリ。川崎用水ニ架セ

ル板橋ナリ。破損ノ時ハ官ヨリ修理アリ。長サ六

間幅八尺。コノ村ト上小田中兩村ノ持ナリ。

水利

稲毛川崎用水 西南ノ方。上小田中今井ニ村ノ境

ヲ通ビリ。上丸子村ノ方へ達ス。水路不便ナレハ

村内ノ用水トハナラス。

神社

杉山社 西明寺ノ境内ツ、キニアリ。村内鎮守ニ

社ノ一ナリ。イツノ頃ノ勸請ナリヤ。ツノ年月ヲ

傳ヘズ。例祭ハ九月二十九日。隔年ニ行ヘリ。村内

西明寺ノ門徒正覺院ノ持下リシカ。廢院ノ後本
寺ノ持トナレリ

神明社 小名山谷ニアリ。神明ノ例祭隔年九月二
十九日。村民ノ持。相殿總社権現神躰ハ木ノ立像
長一尺五寸。束帶ノ状ナリ。コノ社ハ正徳ノ頃迄
ハ。村ノハツレ多磨川ノ傍ニアリテ。則村内成就
院ノ持ナリシガ。多磨川ノ岸缺崩レ。其地ヲ失ヒ
タレハ。神明ノ社ニ合セ祭レリト。コノニ社ニ前
ノ一社ヲ合セテ。村内ニ社ノ鎮守トヨベリ。元徳
三年ノ断碑一枚社地ニアリ。コノニ傳ルユヘン

寺院

ラレラス。

西明寺 村ノ中央街道ノホトリニアリ。新義真言

宗。京都醍醐三寶院ノ末山ナリ。龍宿山ト號セリ。
古クハ二宿山トモ云リト傳フ。最明寺時頼入道
道崇ノ開基ナリト云傳フレド。慥ナルコトヲ知
ラス。寛永十九年八月十七日。寺領十石ノ御朱
印ヲ當村ノ内ニテタマハリシヨリ。今モカハシ
ス。境内モ則寺領ノ内ナリ。當寺元ハ郡内有馬村
ニアリシニ。元弘ノ亂ニ鎌倉北條氏没落ノ後當

村ニ鎌倉ノ浪人潜居シテアリシユヘ。其エカリ
ヲモテ。此村ヘウツリシトイヘド。夕シカニ其年
歴ヲ傳ヘス。客殿十二間ニ七間半。本尊大日如来。
木ノ坐像ヲ安セリ。
天満宮 境内東北ノ隅ニアリ。小祠南向。境内ノ
鎮守ナリ。

八幡宮 境内良ノ方ニアリテ。西ニ向ヘリ。
観音堂 境内ニ入り左ニアリ。四間四方東向。十
一面観音立像一尺二寸木佛ナリ。
閻魔堂 表門ヲ入テ左ニアリ。三間四方。

鐘樓 門ヲ入テ右ニアリ。九尺四方。享保十七年

壬寅十二月ノ銘ヲエレリ。

寺中

正覺院跡 境内南ノ方ニアリ。是モ本寺 御朱

印地内ナリ。ソノ廢セシ年月ヲ傳ヘス。

成就院 村内多磨川ノ傍ニアリ。新義真言宗。村内

西明寺ノ末。惠日山ト號ス。開山ノ名ヲ傳ヘス。境

内ニ法印尊秀寛文二年十月十四日トエリタル

石碑アリ。是等モレ開山ナランカ。モトヨリ小寺

ナルガ上ニ。今ハ村持ニテ任職ナケレバ。スベテ

ノコトヲシルベカラス。客殿七間ニ六間南向。本
尊大日。坐像八寸ナルヲ安セリ。

妙泉寺 同ジ邊ニアリ。日蓮宗。川崎宿妙遠寺ノ末。

爰モ住僧ナケレバ。山號以下ノコト。スベテ尋ル
ニ由ナシ。夕バ小泉次太夫ガ開基セルト云傳フ
ルノミ。サレバ次太夫吉次カ。ツノ子次太夫某。ニ
人ノ内ナルベシ。客殿五間ニ四間東向。本尊三寶
袒師ヲ安セリ。

古蹟

小杉御殿蹟 村ノ中程ニアリ。此御殿ハ昔

將軍家此邊一御鷹狩ノ頃。又ハ相州中魚ノ御殿
一渡ラセ。夕マフ時。御中ヤドリノ為ニ。慶長ノ頃
此所ニカリノ御殿出来ナリ。ツノ後寛永十七
年。新ニ御造立有テ。安藤市郎兵衛。小侯平右衛門
トイヒシモノ兩人。ツノ事ヲウケタマハレリ。ツ
ノ頃ノナマハ。表御門裏御門ナドイカメレクシ
テ。御門ノ外ニハ下馬札ヲ立ラレ。内ニハ御馬屋
鋪。御藏。御賄屋鋪。御殿番屋鋪ナド。サマゲクナ
ガケリ。シカレニ。明暦元年ニ至リ。ツノ御殿ノ造
營ヲワカナテ。品川ノ東海寺ニ賜ハリシカバ。ツ

ノ頃ヨリハ。ワタラセタマフコトモマレノニナ
リシニヤ。寛文十二年ニ。ノエレル御殿ヲハ。江戸
上野ノ弘文院へ賜ハリレト云。或ハ萬治三年ニ
御殿ヲ悉ク廢セラレシトモイヒ。又寛文元年御
殿地ノ内ニアリシ竹木等モ。御拂トナリシカバ。
ツノ頃御殿ヲマモリシ。井出七郎九衛門願ヒア
ガレニヨリ。カノ竹木及ビ三十坪餘ノ地ヲバ。其
マ、同人ニタマハレリト。今ハ皆田地トナリ。御
守殿跡トテ。終ニ二百坪餘。長ク除地トナレリ。ツ
コニ稻荷ノ小祠ヲタツ。カノ子孫ハ清五郎トテ

江戸ニ居リ。當所ニモ子孫ノコリ。喜左衛門トイ
ヒテ。世々コノ處ニ居リ。今モツノ地ヲ進退ス。

陣屋蹟 御殿蹟屋敷ノ後ニアリ。昔ニ御代官小泉
次太夫ガ居住セシ跡ナリト云。

舊家

百姓平作 安藤氏ナリ。小田原北條ノ家人安藤大
炊助ト云シ者アリ。ツノ四代ノ孫ヲ久九衛門重
祐ト云。ツノ子ヲ平作トイヒレヨシ。是今ノ平作
ガ先祖ナリ。サレド詳ナル事歴ハツクヘズ。
百姓源五右衛門 菅田氏ナリ。系圖ヲ失ヒタレハ

詳ナラス。サレド舊家ナリ。先祖ヨリ傳ヘシトテ。
古カ一腰ヲモテリ。長ニ尺九寸。中心六寸一分。外
ニ矢一筋。又メグリニ尺餘ノ古釜一ヲ持タレド。
ソレノミニテ。古ノコトヲシラズ。

上平間村

上平間村ハ。郡ノ北ニアリ。江戸日本橋ヨリ。行程四
里ニ餘レリ。村ノ四境。東ハ大抵多磨川ヲ坂ヒトシ
テ。荏原郡矢口村ニ接シ。南ハ下平間村ニソヒ。西ハ
鹿嶋田市ノ坪ノ二村ニ隣リ。北ハ中九子村ニ境ヒ
タレド。多磨川ヲ隔テ。下九子村ニ及ベル處モア
リ。東西八町餘。南北一九町ニ餘レリ。民戸八十四軒。
村内平地ニテ。水損ノ患アリ。田多クシテ畑少シ。土
性ハ真土ナレドモ。砂交レルルルアリ。按ニ東鑑建長

八年六月二日辛酉ノ條ニ。奥大道夜討強盜蜂起。成
往及旅人之煩。仍此間度々有其沙汰。可致警固之旨。
今日被御付于彼路次地頭等ト書レ其下ニ。廿四人
ノ名ヲ盡クノセタレド。其間ニハ交名ヲ記サズシ
テ。葦野地頭。平間江地頭ト書セルアリ。又式目新
編追加ニモ此事ヲノセ。彼廿四人ヲ記セリ。其内ニ
平間江ニハ。武蔵ノ二字ヲ加ヘ。江ノ字ヲ郷トナセ
リ。東鑑ニ江ノ字ヲ書タルハ。郷ト音通ニテ記セシ
ニヤ。又郷ノ艸書江ノ字ノ形ニ似タレバ。カク誤リ
レニヤ。コヽノヽ非ズ。此書ニハカヽル類アリ。サ

アラバ平間郷トイハコヽノコトナルベシ。モ
トヨリ武蔵ノ中ニ平間トイハル郷名ハナシ。平間
村トイハルモコヽヨリ外ニ唱ル處ナケレバ。此所
古ハ鎌倉ヨリ奥列ヘノ往還ニテ。建長ノ前ヨリ此
名ヲオヒシトイハレモ。理リ然ルベキコトニテ。舊
キ郷名ナルベシ。遙ノ後永祿ノ頃ハ。此所一貫八百
文ノ地ヲ。北條ノ家人太田大膳亮トイヒレモノ領
セリ。小田原記ニモ。永祿十二年。甲斐ノ武田信玄江
戸ノ邊ヲ追捕セシトキ。矢口ノ渡ヲ舟ニテ稲毛ノ
平間ト云所一ワタリ。稲毛十六郷ヲ追捕ス云云ト

見エタリ。イヅレニモ舊キ村ナルベシ。コノ村今見
ル所ハニ村共ニ多磨川ノ南ニアレドモ。往昔ハ上
下ヲワカタス一村ナリシニ。一旦多磨川ノ瀬カバ
リテ。中央ヲ流レシヨリ。上下ニ分チレト云。今上村
ハ。稲毛領ニ属シ。下ハ川崎領ニ属シクルハ。多磨川
ヲ。坂トシテ左右ニアリシユヘニ。カク領名モ分チ
唱ヘシナウン。其後フタ、ビ川ノ瀬カハリテ。今ノ
如クナリシモ。亦サマテ述キコトニモアラスト云。
御入國ノ後ハ。御料ニテ。寛永廿一年。伊奈半十郎忠
治。檢地シ。新田ハ。保年中。寛播磨守正舗。其外伊奈

半左衛門忠建。神戶若狹守春央等ノ檢地ナリ。御代
官モシハ。任遷替ナリテ。今ハ小野田三郎右衛門信
利ノ支配所ナリ。
高札場。村ノ中央ニアリ。

小名

- 梨ノ木 村ノ中央ニアリ。
- 池淵 同ジ邊ニアリ。
- 石魚 是モ同ジ邊ニアリ。
- 蒲田 南ノ方ニアリ。
- 柴新田 蒲田ノ邊ニアリ。

野新田 南ノ方ヲ云。

八又張 前ト同ジ邊ナリ。

大耕地 柴新田ノ邊ニアリ。コノ處ノ土

中ニ大石埋レアリシト云。

押切 同ジアタリヲ云。

古川 西ノ方ニアリ。古一多磨川コノ如

本村 村ノ中央ナリ。

北村 北ノ方ヲ云。

大村 西ヨリヲイフ。

山川

多磨川 中九子村ヨリ入り。矢口村ニ通ゼリ。其間

屈曲シテ流レタレド。村内ヲ經ルコト五町餘。川

幅平水ノ項ハ三十間許。

渡津

平間渡 村ノ北多磨川ノ中ニ渡船ノ場アリ。江戸

ヨリ往來ノ渡ニテ。是ヲ平間ノ渡トイヘリ。十月

ヨリ三月マデハ。假ニ橋ヲ架シ。其餘ハ舟ヲモテ

ワタセリ。其アタリヲ萩原瀬ト名ツケタリ。コノ

渡船ノ運上トテ。年毎ニ若干錢ヲ出セリ。コレハ

明和三年ヨリ始リシトイヘド。渡船ノ始リシハ
舊キコトナルベシ。

水利

川崎用水 市ノ坪村ヨリ當村ノ田地ニソ、ギ。下

平間村ニ達セリ。

堤 村ノ中程ヨリ下平間村ノ方一至ル。堤上ハ川

崎往來ノ直道ナリ。

神社

八幡社 村ノ中央江戸ヘノ往來ノ傍ニアリ。拜殿

二間ニ三間。内陣一間半ニ二間。本地彌陀ノ坐像

長九寸。例祭八月十五日。社前ニ石ノ鳥居。及石階
アリ。法田寺ノ持。此以下三祠モ同寺ノ持。

天王社 社地ハ小高ク。南向ノ祠ニテ。前ニ鳥居ヲ

立。神躰不動。長九寸許。例祭六月六日。

天神社 天王社ノ並ニアリ。南向ノ小祠ナリ。神躰

八寸許。束帶ノ木像ナリ。例祭二月二十五日。

神明社 社一間半ニ二間南向。神躰立像ニテ。一尺

餘。例祭十一月十五日。イヅレモ鎮坐ノ集代ヲ許

ニセス。

寺院

法田寺 小名大村ニアリ。日蓮宗。池上本門寺ノ末。
平等山ト號ス。慶長十一年寶藏院日光起立ニ。寛
永十九年十月朔日寂ス。客殿七間半ニ。六間半。本
尊三寶ヲ安セリ。

毘沙門堂 境内ノ鎮守ニテ。客殿ノ背後ニアリ。
二間半四方。神躰木ノ立像一尺二寸。中老日法
ノ作。

西福寺 村ノ中央ニアリ。一向宗。京都東本願寺ノ
末。涼榮山ト號ス。寛永三年ノ起立ニテ。開基教覺
承應二年六月二十七日寂セリ。客殿四間半ニ。五

間南向。本尊彌陀ノ立像長一尺五寸ナルヲ安セ
リ。

寮 村ノ西ノ方ニアリ。村民ノ墓所ヲ守レル人ノ
居ル寮ナリ。二間半ニ。四間西向。三尊跡陀ノ立像
長二尺許ナルヲ安セリ。モトヨリ寮ナレバイツ
レノ頃ヲテレト云コトヲモ傳ヘズ。

塚

銚子塚 村ノ西ニアリ。高一丈許。上ニ稲荷ノ小祠
アリ。土人云塚ノ形銚子ニ似タレバ名クト。

舊家

百姓五郎左衛門 加藤氏ニテ。世々村ノ里正ヲツ
トム。先祖加藤駿河守ト云ハ。甲陽軍鑑等ニ見エ
タリ。此人甲斐國ヨリコノ稲毛庄ノ内落来リ
タルヨシナリ。按ニ駿河守カ稲毛庄一來タリト
云コトハ。外ニ所見ナシ。荏原郡上目黒村ノ里正
ヲ加藤定右衛門ト云。コレモ駿河守ノ子孫ナリ
ト云。家系ヲ藏セリ。カノ定右衛門ノ祖先ハ。上目
黒村ニ来リ。コノ五郎右衛門ノ祖先ハ。コノ來
リ居ヲ非ノ今ニ至レルニヤ。サアラシニハ定右
衛門ハ兄ノ家ニテ。コノハ弟ノ家ナルヘシ。ナリ

目黒村定右衛門ノ條ニ出セリ。
百姓庄太夫 田島氏ナリ。是モ舊家ナルヨシ一
トモ。家系ヲ傳ヘズ。按ニ田島兵部左衛門之房ナ
ド云人ハ。小田原北條家ニ属シテ。シバノ戦功ア
リシコトソノ頃ノ記録ニマ、ニエタリ。コレ等
ノ子孫ナリヤ。土人モシカ云一リ。

上丸子村

上丸子村ハ。郡ノ北ニアリ。古一丸子ノ庄トイヘリ。
江戸日本橋ヨリ四里半。民戸百十一軒。東ハ多磨川
ヲ隔テ。荏原郡下沼部村ニ坂ヒ。南モ同村ノ飛地ニ
隣リ。西ハ小杉村ニツヒ。北ハ又多磨川ヲ隔テ。荏原
郡上沼部村ナリ。東西五町餘。南北十三町ニ餘レリ。
村ノ中央ニ一條ノ往還アリ。ツノカ、ルヨト五町
餘。下沼部村ヨリ入テ。小杉村ニ達セリ。コレヲ中原
街道トイヘリ。コノ邊地形低ケレバ。オノツカラ水

田多ク陸田少シ。土性ハ上ニシナジ。コノ村名ハ舊
クヨリ唱フルコトナラレ。按ニ東鑑ニ。治承四年十
一月十日戊午。以武藏國九子庄。賜葛西三郎清重云
云トアリ。此九子庄ハ。則此邊ヲイヒシナルベシ。後
世其村名ノミ残リシニヤ。上中下九子村ハ。其庄名
ノ起ル所ニシテ。外ニモ此頃ハ九子ノ庄ニ属セシ
村々モアリシナラシ。今ハ失ヒテ傳ヘズ。又古河ノ
成氏兩上杉ト矛盾ノ頃。文明十年正月廿五日。扇谷
ノ家老太田道灌入道出馬シテ。豊島勘解由九衛門
ガ平塚ノ要害ヘ押ヨセ攻ケレバ。其曉没落シテ敵

ナラ九子城小机城ニ籠ル云々ト。鎌倉大州紙ニミ
エタリ。此九子ノ城ト云ハ。當村ニアリシ城ナルベ
シ。小机モコヨリ程遠カラサレバ。地理モ亦然ル
ベシ。又其頃城主ノ名ハ傳ヘサレト。成氏ニ属セシ
モノトモ籠リシト見エ。今村内ヲ尋ルニ。其舊地ヲ
傳ヘズ。又文明十八年道興准后九子ノ里ニテヨノ
ルト云歌アリ。
東路ノマリコノ里ニ行カ、リアシモヤスノス
イソク暮カナト。其アリキシ次ハ。江戸ノ方芝浦ヨ
リコ、ニ至リ。ソレヨリ駒林ニカ、レリ。駒林モコ

コヨリ近キ邊ノ村名ニアレハ。此九子トイハルモ
コノ處ナルベシ。サレバ相摸國九子河ナド、ハモ
トヨリ異ナリ。此頃ハ何人ノ所領ナリシナド云コ
トハ定カナラス。星霜ヲシ移テ。永祿ノ頃ハ北條氏
支屬ノ所領ナリキ。其家ノ所領役帳ニ。廿貫文小机
上九子千葉殿トノセタリ。郡内長尾村ノ舊家太郎
兵衛ガ家ニ傳ヘタル文書ニモ。九子之内云々千葉
殿御老母堪忍分ト見エタリ。末ニ甲子三月廿三日
トアリ。コノ永祿七年ナルベシ。此村上中下ニ分レ
シモ。ツノ初ノ年歴ハシラガレドモ。彼役帳ニ上九

子トアレバ。永祿ヨリ以前ニ分ナシハ論ナシ。又村
内山王社ニ藏セル。丁亥及庚寅等ノ文書ニモ上九
子ノ名アリ。コレナシ天正十六年丁亥。同十八年庚
寅ナルベシ。此頃ハ誰人ノ所領ナルコトハ傳ヘス。
御入國ノ後。正保年中ハ。齋藤堪津守ノ知行ニ。山王
領交リシコトハ。モノニ見エタリ。其後齋藤氏ハ所
替アリテ。元祿十年ヨリ御料所トナリ。其頃檢地ア
リ。又寶永ヨリ寶曆ノ間ニモアリシト云。ソレヨリ
御代官ノ遷替ハ度々ニテ。今ハ小野田三郎右衛門
信利支配所ト。山王領モ交レリ。

高札場

村ノ中央字宮地ニアリ。

小名

青木前耕地 相別往来ノ中程ニアリ。

二本松 同ジ邊ニアリ。

石井田耕地 是モ相別往来西ノ方ヲ云。

芝耕地 多磨川ノ方ニヨレリ。

古川耕地 南寄ニアリ。以下イヅレモ同

ジ邊ニアリ。

五町免耕地

五段田耕地

山川

多磨川 村ノ東北ニアリ。平水ノ頃ハ。川幅六十間

許。小杉村ヨリ入リ。荏原郡下沼部村ノ飛地向河

原村へ達ス。村内ヲ流ル、コト。屈曲シタレバ凡

十七八町アルベシ。

渡津

九子渡 村ノ東多磨川ノ中下沼部村ノ飛地ニ渡

船ノ場アリ。船四艘ヲモテ。常ニ往来ノ人ヲワタ

セリ。ツコヲ九子ノ渡ト云。コ、モ十月ヨリ三月

マテハ舟ヲ止ノ。長四十六間ニ幅一間ノ土橋ヲ

架シテ。行人ノ便トナセリ。オモフニ古ハ當村ノ
西ヲ多磨川流レシナリ。イツノ頃カ川流變遷
シタレバ。今ノ如クコノ川ノ西ニモ下沼部村ノ
飛地出来シカ。サレド古ヘノサマナレハ。コノ渡
船ノコトハ沼部ノ村民ハアツカラス。故ニ今コ
ノ渡ヲ當村ノ條ニカケタリ。

水利

稲毛川崎用水 終カナル流ナリ。隣村小杉ヨリ入
テ。中丸子村ニ及ベリ。

神社

山王社 村ノ東方ニアリ。御朱印二十石。本社ニ
間ニ三間。幣殿ニ間ニ二間半。拜殿ハ二間半四方。
前ニ鳥居ヲ立ツ。鎮坐ノ初ハ詳ナラス。御朱印
ヲ賜ヒレハ。寛永十九年八月十七日ナリ。當社ノ
縁起アレド。後人附會セシモノトミエテ。取ベキ
コトナレ。コトニ兼治庚申ナドアラヌ年號ラレ
ルニスレバ。考フルニヨレナレ。モレ兼治ハ治承
ノ誤ニテ。支干ハ更ニ誤リ載セシニヤ。是ノミナ
ラス。其載スル所何レモウケガヒ難キコト。モ
ナレバ。コトニノセス。

寶物

劔

長ハハ終ニ九寸五分ナリ。銘ハナシ。

一振

鎗

一筋

銘日向守正氏ノ五字ヲエリタリ。コレヲハ
小松内大臣重盛ノ納メタリトイヘドモ、
レカナルコトヲレラス。

古文書

二通

上丸子口振武費

此乃上口振武内之文

安民之永代傳

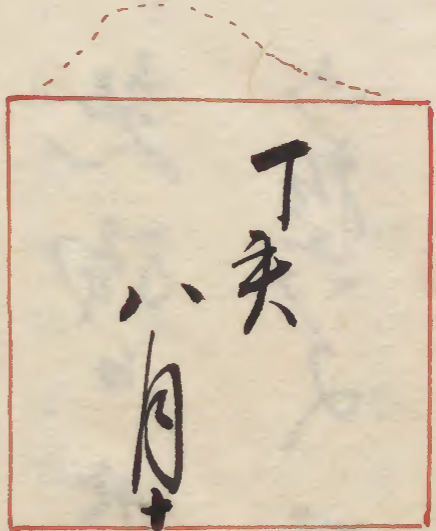
免。彌々世永立百

六振又。下校。水。花

細。乃。乃。作。步。乃。足。

河内件一

北條氏虎印



丁亥

八月十六日

河内件

北條氏虎印

河内件

上河内之川河内河内

谷能河内河内河内河内

上河内河内河内河内河内

代河内河内河内河内河内

河内河内河内河内河内

急度作藏中社を按く山平貴

持とる是の件

北條氏虎印

庚寅
三月十六日

何れも

申村ありて
上野子百姓中

駒形社 本社ニ向テ九ニアリ。九尺四方。

稲荷社 本社ニ向テ右ニアリ。一間四方。

釋迦堂 境内ニアリ。是ハ村内大樂院ノ持。

神主山本丹波 吉田家ノ配下ナリ。イヅレノ頃

ヨリ當社ノ神主トナリシヤ。家系ヲ傳ヘサレ

ハ詳ナラス。按ニ社傳ニモ神宮寺ノ名ハ見エ

神主ノコトハ記サズ。且社地ノ釋迦堂ハ。村内
大樂院ノ持ナレバ。昔ハ當社モ大樂院ノ持ニ
テ。山本氏ノ神主トナリシハ。遙ニ後ノコトナ
リト土人イヘリ。今ハ大樂院ニテハ。當社ノコ
トニハアツカラス。

熊野社 小名古川ニアリ。小祠西向。例祭八月十五
日。村内大樂院ノ持。

熊野社 南方ニアリ。大樂院ノ持。

諏訪社 東北ノ隅ニアリ。西藏院ノ持。

八幡社 村ノ中央ニアリ。社ニ間ニ二間半西向。前

ニ鳥居アリ。例祭ハ三年ニ一度アリ。勧請ノ初ヲ
シラス。大樂院ノ持。

伊勢宮 村ノ北ニアリ。終ナル社。祭禮八月十五日。

是モ大樂院ノ持。

天満宮 村東多磨川ノ邊ニアリ。本社三尺四方。覆
屋ニ間四方。拜殿ニ間ニ二間半。南向ナリ。前ニ石
ノ鳥居アリ。例祭九月二十五日。西藏院ノ持。

末社

子権現社 本社ノ後ニアリ。石ニテ造レルワツ
カナル祠ナリ。

杉山社 村ノ西北ノ隅ニアリ。小祠。勧請ノ初ヲ詳ニセス。是モ西藏院ノ持。

寺院

大樂院 小名青木前耕地ニアリ。真言宗新義大和國城上郡長谷寺ノ末。日吉山神宮寺ト號ス。開山ノ年月ヲ傳ヘザレド。山王ノ社傳ニ當寺ヲ載テリ。彼社傳ノ事カラハ疑シキニモセヨ。イヅレ舊クヨリ成リタルモノナレバ。コノ寺ノ舊地ナルコトモ自ラシルベシ。中興開山延寶七年寂ストノミ傳ヘテ。其名ヲシラズ。本堂九間半ニ六間半。

本尊大日坐像長ニ尺五寸ナルヲ置リ。門西向。門外ニ石ヲモテ造レル地藏。及觀音ノ二軀ヲ立テ。觀音堂 門ヲ入テ右ニアリ。四間四方北向。正觀音立像ニテ長一尺ニ三寸許。

辨天社

稻荷社

不動堂

觀音堂ノ傍ニアリテ。イヅレモ纔ナル造ナリ。

西藏院 村ノ東多磨川ノ邊ニアリ。真言宗新義郡内小杉村西明寺ノ末。青木山冷水寺ト號ス。開山

ノ年歴ヲ傳ヘズ。梅ニ當寺ノ山號ヲ青木ト云。今
村内ノ里正久藏ハ青木氏ナレバ。モシクハコノ
家ノ開基ニモアラン。サレド其家ニモ傳ヘサレ
ハ。今ヨリハ定カニ知ルベカラズ。客殿五間四方
南向。本尊大日立像。長ニ尺許ナルヲ安ス。
閻魔堂。村ノ中央ニアリテ。村民ノ葬地ナリ。土人
此堂ヲ三昧場トモ。善性寺トモ呼ブ。サレド纒ニ
二間四方ノ庵ニテ。寺ト云ホドノコトニハアラ
ズ。昔ハ一寺ナリシニヤ。イツレノ頃建シト云コ
トモ傳ヘズ。

觀音堂。村ノ南方ニアリ。二間四方東向。千手觀音
ノ立像長一尺五寸ナルヲ安セリ。又此堂ヲ大日
堂トモ唱フトイヘバ。昔ハ大日ヲ本尊トセシニ
ヤ。村内西藏院持。

中丸子村

中丸子村ハ郡ノ北ニアリ。江戸日本橋ヨリ行程四
里ニアマレリ。東ハ多磨川ヲ坂トシテ。向ヒハ下丸
子村。南ハ上平間村。西ハ市ノ坪村ニテ。乾ノ方ニハ
上丸子小杉ノ二村。北ハ下沼部村ノ飛地向河原ト
云所ニトナレリ。東西ハ町餘。南北ハ六町ニアマレ
リ。地形東ノ方ヨリ北ヘカケテハ低ク。土性ハ真土
ニ砂交リ。水田多ク。陸田少シ。民戸六十四軒。村名ノ
舊クヨリ傳ヘシコトハ。前村ノ條照シ見ルベシ。

御入國ノ後寛文年中。木造五郎兵衛ノ采地タリシ
ガ。其後伊奈半十郎支配セリ。安永年中新田ノ地ヲ
ハ。伊奈半九衛門忠敬ノ檢セシトアリ。今ハ小野
田三郎右衛門支配所ト。本郷丹後守ノ知行交ハレ
リ。
高札場 御料所ハ村ノ東方ニアリ。私領ハ北方ニ
アリ。

小名

前田通 村ノ中央ニアリ。
塚田 前ノ邊ニアリ。

長嶋耕地 塚田ノ邊ニアリ。

夕テ原 多磨川一リヲ云。

山川

多磨川 村ノ東ノ方ヲ西ヨリ南ヘサシテ通ズ。下
沼部村ノ飛地向河原ヨリ入リ。上平間村ノ方一
通ズ。村内ニカ、ル所ノ川長ケ四百間ニアマレ
リ。幅平水ノ頃ハ五十間モアルベシ。コノ川ノ向
ニモ。當村ノ飛地アリ。

橋梁

梶ヶ谷橋 村ノ東ノ方多磨川ノ邊。悪水堀ニ架ス。

長七間ノ一枚ナル板ナリ。是ヲワタレハ上平間
村ニ至レリ。

神社

羽黒社 多磨川ノ方ヘヨリテアリ。本社三間ニ二
間。拜殿六間ニ二間半。東ニ向。本地彌陀薬師観音
ハ。行基ノ作ナリ。社地ノサマ雜木茂テ。イトフリ
夕ソ。當社勸請ノ始シ學ルニ。明暦三年ノ縁起ア
リ。コハ時ノ社僧天順ト云ヘルガ記セシモノニ
テ。當社神カノ尊ノミヲノセシナレハモトヨリ
事實ノトルベキコトナシ。タバツレガ中ニ。天正

年中出羽國ヨリウツシテ勸請セリト云コトヲ
載夕リ。サアラバコノ頃ヨリノ勸請ナラニカ。例
奈五月八日。六月十日。九月八日ノ三日ヲモテ行
一リ。村内無量寺ノ持。

末社

辨天社 本社ノ傍ニアリ。
神明天神稻荷合社 本社ノ北ニアリ。神明及ヒ
天神ハ。モト多磨川向ヒ飛地ノ内ニアリシニ。
イツノ頃カコ、ニヒキウツシテ合殿トナセ
リ。

藏王社 本社ニ向テ右ニアリ。コノ傍ニ社守ノ

家アリ。二間ニ九尺。

寺院

無量寺 村ノ西ニアリ。真言宗新義。小杉村西明寺

ノ末。瑠璃光山長壽院ト號ス。開山法印覺源。文祿

三年七月十六日寂ヒリ。中興開山頂慶。寛永元年

六月五日示寂ス。客殿八間ニ六間半東向。本尊弥

陀立像。長四尺許ナルヲ安ヒリ。

新編武藏風土記卷之六十四終

